

「里山広葉樹」を生活空間に

木使いのリストラクチャー（再構築）



コナラ・クヌギという里山を代表する落葉広葉樹は昭和30年代以降、石油・電気・ガスが普及するまでは、貴重なエネルギー源として縄文時代から日本人の生活を支えてきました。現在、登米市を中心に、SDGsの実現に貢献することと地域林業の持続的な発展を目指し、里山落葉広葉樹を活用し、家具や食器・雑貨といった生活関連製品やフローリングやカウンター等内装材などの製品化が少しずつ形として現れ始めています。今回、県内の関係者の方々に我々のこれまでの取組をご紹介させていただく機会として木材セミナーを宮城県森林組合連合会大衡総合センター研修室を会場に開催致します。

当日は、講師による講演のほか、家具やフローリング等の実物の展示と製品の説明を予定していますので、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、是非ともご参加頂き、率直なご意見を頂ければ幸いです。

2020年2月21日（金）

13:20-15:30

宮城県森林組合連合会
大衡総合センター研修室

宮城県黒川郡大衡村大瓜字沓掛 112



当日のスケジュール



13:00 受付

13:20 取組紹介

①広葉樹の活用を図るために ～ 古くて新しい素材の見直し ～
宮城県林業技術総合センター 伊藤 彦紀

②登米市森林管理協議会における広葉樹の製品化事例紹介
登米市森林管理協議会 F M 材流通事務局
登米町森林組合 會津 浩幸

14:00 休憩

14:10 基調講演

国産広葉樹の加工技術の継承と新たな事業展開について
～ 国産広葉樹の無垢フローリング加工販売 ～
藤島木材工業株式会社 取締役 藤島 新

15:10 製品紹介及び意見交換

15:30 閉会

主催：登米市森林管理協議会

お問合せ：FM 材流通事務局

登米町森林組合 / 木材利用開発課 (担当：會津)

Tel:0220-52-2063 E-mail:precut02@forest100.jp